

部活動地域移行に係る北九州市の主な取組（令和4・5年度）

令和4年度の主な取組

- ・部活動地域移行モデル事業
5校・5部活の休日活動をNPO法人と北九州市卓球協会に運営委託
- ・部活動地域移行に係るオンラインイベント（令和5年3月）
「これからの部活動の話をしよう!」をテーマに市内14校140名の生徒がオンラインでつながり意見交換
- ・部活動地域移行に係る職員研修
各学校において全教職員対象に国が示す方向性について説明しグループ協議を実施

取組概要→資料1

令和5年度の主な取組

- ・部活動地域移行モデル事業
休日の学校部活動を地域活動として実施するための実証として運動部3部・文化部2部
- ・部活動地域移行に係るアンケート調査（令和5年6月）
生徒・保護者・教員を対象に実施（回答率 中学生56.2% 中学生保護者33.3% 教員69.7% 小学5・6年生保護者29.3%）
- ・部活動地域移行の在り方検討会議「北九州市部活の未来を考える会」
全6回の会議を開催。令和5年12月に意見の取りまとめを行い内容を周知

取組概要→資料2

9

主なアンケート結果と「部活の未来を考える会」意見取りまとめ

【生徒アンケート】

Q.「もっとこうなったらよい」と思うこと

「初めての人でも気軽に参加できるような楽しむことを中心とした活動」 約23%

「プロを目指すような競技力・技術力の向上を中心とした活動」 約14%

「練習日数・時間を増やしてほしい」 約14%

「練習日数・時間を減らしてほしい」 約10%

【保護者アンケート】

Q.保護者会等で定期的に集めている費用

ない 約32%
月500円以下 約17%
月1,000円程度 約28%
月1,001円から3,000円 約20%

Q.月会費として許容できる費用負担

月1,000円以下 約22%
月2,000円程度 約28%
月3,000円程度 約27%

【教員アンケート】

Q.地域移行後の指導について

報酬があり専門種目が指導できるなら指導したい 約32%

報酬があり専門種目が指導できなくても指導をしたい 約5%

報酬が支払われなくても指導したくない 約63%

結果概要→資料3

「部活の未来を考える会」での主な意見（全6回開催）

構成員名簿→資料4

- 生徒数の減少や教員の働き方を考えると改革は進めていくべき
- 複数校が協力して部活動を運営する拠点校（エリア型）の部活動を導入
- 平日の部活動はこれまで通り学校が担い、令和9年度を目途にまずは休日の部活動を地域活動に徐々に移行
- 指導者や受け皿となる団体等を確保するとともに、質を担保するために指導者や団体の登録制度の整備に着手

10

主な他都市の動向

静岡県掛川市

- ・2026年度(令和8年度)に部活動を廃止して地域クラブへ移行
- ・地域クラブを公認化してパンフレットで周知



神戸市

- ・2026年度(令和8年度)より平日・休日ともに地域クラブ活動に完全移行
- ・「神戸の地域クラブ活動」=「KOBE◆KATSU(コベカツ)」

福岡市

- ・当面は地域連携(部活動指導員の活用)を推し進める予定
- ・意見交換会を実施するなど、今後の国や他都市の動向を注視

熊本市

- ・令和6年3月に熊本市部活動改革検討委員会が教育委員会に対し答申を提出
- ・地域移行を見送り、指導を希望する教員や地域人材による指導を前提に学校部活動を継続する予定

福岡県

スポーツ庁指定の「部活動改革重点地域」7県の1つに選定される

11

部活動地域移行推進計画(案)の概要

【基本方針】

- (1) 生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境の整備
- (2) 様々な運営主体による多様な地域クラブ活動の展開
- (3) 適正な活動と持続可能な運営体制の構築

主なスケジュール案(令和6年7月時点)

	2024年度(R6年度)	2025年度(R7年度)	2026年度(R8年度)	2027年度(R9年度)
平日(部活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○週1回の休業日 ○エリア型部活動のエリアモデル検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○週1回の休業日 ○活動時間の短縮 ○エリア型部活動の一部モデル実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○週2回の休業日 ○活動時間の短縮 ○エリア型部活動のモデル拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ○週2回の休業日 ○活動時間の短縮 ○平日はエリア型部活動で実施
休日(地域クラブ活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○土日いずれか休養日 ○推進計画策定 ○ガイドライン改訂 ○人材バンク基盤づくり ○地域クラブの登録要件を整理 ○教員の兼職兼業について手引き作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○月1回の土日完全休養 ○人材バンク構築・運用 ○教員の兼職兼業手引きの周知・適用 ○地域クラブの登録要件を制度化・一部運用開始 ○指導者向け研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ○月2回の土日完全休養 ○人材バンク構築・運用 ○教員の兼職兼業手引きの周知・適用 ○地域クラブの登録・運用開始 ○指導者向け研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ○休日は学校から地域クラブへ完全移行 ○地域クラブの登録 ○教員の兼職兼業適用 ○人材バンク運用 ○指導者向け研修会

12

部活動地域移行推進計画（案）の概要

人材バンク

- ・競技団体やスポーツクラブ、民間団体等と連携して**指導者登録制度（人材バンク）**を整備
- ・学生、地域人材、保護者等の協力依頼



教員

- ・平日は顧問として**学校部活動を指導し、休日は指導なし**
- ・地域クラブでの**指導を望む教員**は兼職兼業の申請により**指導が可能**



指導者



資質向上

- ・教育委員会主催の**研修会受講**
- ・市の部活動ガイドライン遵守
- ・体罰やハラスメントの禁止
- ・健康・安全配慮、事故防止



報酬・謝礼

- ・持続可能な運営のために**指導の対価**として報酬・謝礼を設定

13

部活動地域移行推進計画（案）の概要

登録制度

- ・教育委員会が設定した要件を満たすクラブを「**公認クラブ**」として登録予定

登録要件は検討中

地域クラブ

生徒が**選択**

※「**休日は活動しない**」という選択も可能

既存クラブチーム
〇〇教室 など

利用施設

- ・主に**学校施設**を利用
- ・行政施設は**減免措置**を検討



会費・保険

- ・原則として**受益者負担、低廉な会費**設定
- ・ケガや事故に備え**保険**に加入



14

部活動地域移行後の活動団体比較(案)

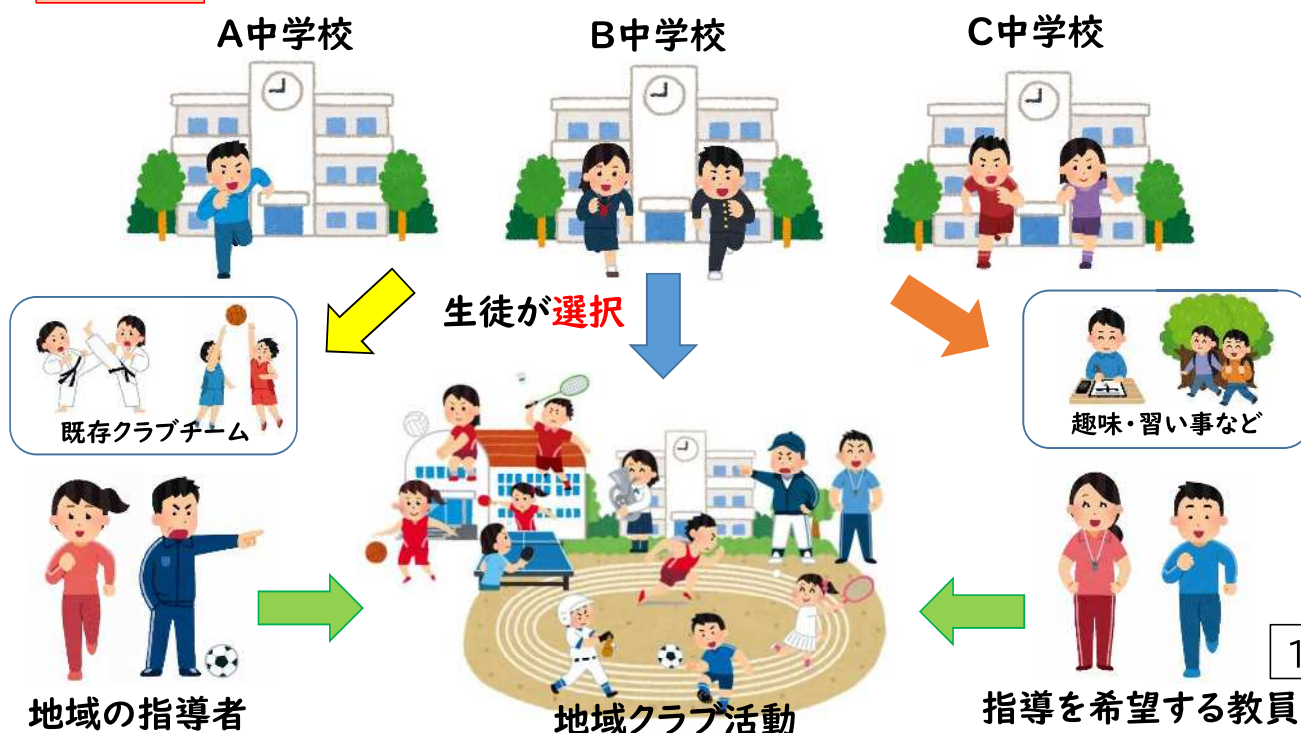
項目	学校部活動	地域クラブ活動
実施主体	学校	受け皿として承認を受けた地域クラブ
主な目的	・学校教育活動の一環 ・学習意欲の向上、連帯感の涵養など (学習指導要領)	・社会教育活動の一環 ・持続可能なスポーツ・文化芸術活動の展開
指導者	教員 外部講師・部活動指導員	地域クラブ所属の指導員 (兼職兼業の教員を含む)
運営方針	北九州市部活動の在り方に関する総合的なガイドラインに準じる	北九州市部活動の在り方に関する総合的なガイドラインに準じる
利用施設	中学校施設	主に中学校施設(目的外使用の申請)
活動日	平日	休日
費用	公費+部費一部負担	受益者負担 (1,000円~3,000円を想定)
保険・補償	日本スポーツ振興センター (学校管理下)	任意の保険に加入

15

部活動地域移行のイメージ

休日

これまでの**学校部活動**から**地域クラブ活動**へ



16







部活動地域移行のイメージ

R6～ 段階的に推進

令和9年度から

エリア型部活動の推進
(一部を地域クラブに移行)

休日の活動を地域移行
(全市にて実施)

曜	平日	休日	平日	休日
活動	部活動		部活動	地域クラブ
管理	学校		学校	運営団体
指導者	 教員		 教員	 地域指導者
実施単位	学校単位 	又は エリア単位 	※平日は実情に応じて学校単位で実施することもある エリア単位 	
大会	単一の部活と同等の扱いで出場(教員引率)		部活動での出場か地域クラブでの出場かを選択	

17